

第 1 回仙台市経営戦略会議の主な意見とプラン修正の方向性

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P3	計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs をきちっと位置づける議論がもっとあってもいいのでは。 【渡邊会長】 ・「経営」という名に添うような方向性であると良いのではないか。 社外社会に向けて：市民からみた市役所の存在価値・貢献度向上 社内内部に向けて：成長と発展のための改革（効率化、組織改編、人材育成）【関委員】（会議後受領意見） 	<p>⇒ご意見を踏まえ、本プランにおける SDGs の位置づけについて加筆しています。</p> <p>⇒ご意見を踏まえ、本プランの範囲である「市役所経営」が何を示すのか明確化するため、説明を加筆しています。</p>
P4-14	仙台市の現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「データに基づく」「データの可視化」との表現があるが、グラフ等の活用により、状況が理解しやすい構成になっていると感じた。数字が全てではないが、定量化で見えてくる背景などもあるため、一層の可視化を期待する。また、データの可視化が進むと、短い期間でのチェックが可能となる。方向性を見直し、軌道修正など柔軟に対応できるような仕組みの整備も必要。【館田委員】（会議後受領意見） ・行政としても、攻めの経営戦略の項目がもっとあっていいと思う。どのような産業から税収が上がり、仙台の成長産業は何かなどを把握し、どんな事業に投資する必要があるか考え、取り組みに落とすべき。そしてそれらを政策立案に組み込むシステムを構築してはどうか。また、行政改革と言えば歳出削減が中心になりがちだが、企業では新事業に対する投資により収益を上げることに力が入る。歳出の取組みだけでなく、歳入の確保の視点が重要であり、資料のデータには歳入の目線が欠けていることに違和感がある。【馬場委員】（会議後受領意見） 	<p>⇒より確かな意思決定をするためにも、一層のデータの可視化に取り組んでまいります。また、いただいたご意見については、進行管理の仕組みを検討する際に参考にさせていただきます。</p> <p>⇒産業に基づく税収の構造については現時点では掲載をしておりませんが、実施項目の検討にあたり今後参考にさせていただきます。</p>
P19-21	仙台市役所の経営理念・仙台市役所の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・（地域が）縮小していく状況で、（組織の）規模を適正に保ち、収支を合わせることに焦点を置いているように感じたが、収斂（シュリンク）だけでは働き手にとって魅力的ではないので、発散、発展のような逆の方向性が必要。資料には、効率化や利便性など、既存のものを活用する視点が強い。創造、創出、発展など、探索して新しいものを見つけ出す視点が重要。【山崎委員】 	<p>⇒ご意見を踏まえ、規模の適正化だけでなく、新しいものを創造するという観点を反映するため、「仙台市役所の経営理念」に「挑戦と進化を続ける」という視点、「仙台市役所の目指す姿」に「④協働による新たな価値の創発」等の視点を加えています。</p>

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P19-21	仙台市役所の経営理念・仙台市役所の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や仙台での暮らしにおいて、幸福感やつながりが感じられるようなものにじみ出てくるとモチベーションが上がり、関わる市民としても楽しく安心して関わるができると感じた。【青木委員】 ・価値創造型の空気が文面から出ていれば読んでいる側もわくわくする。現在、いかに新たな価値を公民連携で生み出すかが行政の大きなミッションになろうとしており、「新しい価値をつくる、チャレンジする、創造性」などの空気感がもっと文面に出てほしい。行政にこそ今後最もクリエイティビティが必要。【馬場委員】 ・「産業」、「新しい価値の創造」、「創造性/クリエイティビティ」、「収益性」、「歳入の増加」、「政策のダイナミズム」などポジティブワードが増えるとよい。【馬場委員】（会議後受領意見） ・厳しい財政見通しだから多様な協働ではなく、暮らしやすいまちをつくるために多様な協働が必要。【熊沢委員】 	<p>⇒ご意見を踏まえ、様々な方々と共にまちをつくるパートナーとしての市役所を体現できるように、「仙台市役所の経営理念」に「仙台に関わるすべての方々と共に新たな価値を創発する」、「仙台市役所の目指す姿」に「暮らしやすいまちを実現するためには、行政のみならず、企業・NPO・市民団体の枠を超えた協働が不可欠」等の表現を記載いたしました。</p> <p>⇒ご意見を踏まえ、「仙台市役所の経営理念」において、市役所の業務は多岐に渡り、「業務の小さな改善であっても多くの市民に影響を与えうる大きな可能性を持っている」、「仙台市役所自身が変化を厭わず挑戦し、その結果として進化を遂げる」、「仙台市役所の目指す姿」に「④協働による新たな価値の創発」等の視点を加えています。</p> <p>⇒同上</p> <p>⇒ご意見を踏まえ、協働の趣旨について誤解のないように、「仙台市役所の経営理念」に「仙台に関わるすべての方々と共に新たな価値を創発する」、「仙台市役所の目指す姿」に「暮らしやすいまちを実現するためには、企業・NPO・市民団体の枠を超えた協働が不可欠」等の表現を記載いたしました。</p>
P20-21	仙台市役所の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性としてはまとまっていると感じる。「あらゆる人が安心して暮らすことができる地域づくり」と記載されているが、これはいい文章。厳しい財政見通しも大事なことだと感じる。【山口委員】 ・自然災害については市役所の職員が組織的に動いており、避難所には担当課もあるが、新型コロナウイルス感染症については全庁的な取組みをしているのかよく分からない。新しい市役所をどうつくっていくのかがよく見えない。【菅井委員】 	<p>⇒「あらゆる人が安心して暮らすことができる地域」をつくるためには、それを支える市役所の体制を強化するだけでなく、持続可能な財政の構築が不可欠だと考えますので、それらが分かるように、「仙台市役所の目指す姿」に「①未来世代に責任ある財政運営」を位置付けています。</p> <p>⇒新型コロナウイルス感染症に対しては、全庁一丸となって経営資源を集中しております。このような想定外の危機に陥っても余力と柔軟性がある組織を構築したいと考えておりますので、「仙台市役所の目指す姿」に「②想定外の危機をしなやかに乗り越える組織」を位置付けています。</p>

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P20-21	仙台市役所の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「市役所の目指す姿」に、想定外の危機をしなやかに乗り越える組織と記載されているが、これが課題。新型コロナウイルス感染症による3月、4月の危機を経て、これを掲げることは大いに評価したい。【斎藤委員】 ・デジタル化による市民サービスの向上という視点はよい。【小粥委員】 ・デジタル化、スマートな組織は重要だが働く場を失う懸念もある。ワークライフバランスが取れるようになるといい。仙台市が宮城県の代表として働き方を変え、仙台市に人がもっと集まってくるような場になって欲しい。【大黒委員】 ・仙台市役所建替についても、コスト削減についての議論は多いが、その場所からどれだけの収入を上げるか、どんな産業を生み出すか、どういう方法論で新しい価値をつくるかという意見が行政の中から出てこないことが気になっており、経営戦略会議でも同様のことが気になった。【馬場委員】 ・本庁舎の建替について、器が変わることによって働き方が変わるため、働く場が変わることを活かすことは重要。【渡邊会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒新型コロナウイルス感染症における経験を今後も活かすことが不可欠だと考えており、「仙台内市役所の目指す姿」に「②想定外の危機をしなやかに乗り越える組織」を位置付けています。 ⇒ご賛同の通り、「仙台市役所の目指す姿」に「③デジタル化によるサービスと組織のアップデート」の視点を位置付けています。 ⇒ご意見を踏まえ、市民サービスの向上と業務の効率化を両立しつつ、働く場として選ばれる組織を目指すため、「仙台市役所の目指す姿」に「③デジタル化によるサービスと組織のアップデート」、「⑤働く場として選ばれる組織」にその内容を反映しています。 ⇒ご意見を踏まえ、「仙台市役所の目指す姿」に「④協働による新たな価値の創発」を位置づけ、社会課題の解決や公の施設の価値向上等の視点を加えています。 ⇒ご意見を踏まえ、「仙台市役所の目指す姿」の「⑤働く場として選ばれる組織」において、「デジタル化や市役所本庁舎の建替などを契機に、多様な働き方ができる職場環境を実現する」と記載いたしました。
その他	実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ・[再掲]行政としても、攻めの経営戦略の項目がもっとあっていいと思う。どのような産業から税収が上がり、仙台の成長産業は何かなどを把握し、どんな事業に投資する必要があるか考え、取り組みに落とすべき。そしてそれらを政策立案に組み込むシステムを構築してはどうか。また、行政改革と言えば歳出削減が中心になりがちだが、企業では新事業に対する投資により収益を上げることに力が入る。歳出の取組みだけでなく、歳入の確保の視点が重要であり、資料のデータには歳入の目線が欠けていることに違和感がある。【馬場委員】（会議後受領意見） ・デジタル化に向けて現状はまとまっていると感じた。ITに強い人材育成は軸になり、歳入の増加にもつながる。【佐藤委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒[再掲]産業に基づく税収の構造については現時点では掲載をしておりますが、実施項目の検討にあたり今後参考にさせていただきます。 ⇒ご意見を踏まえ、今後、実施項目の検討を進めてまいります。

頁	項目	主な意見	修正の方向性
その他	実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを進めるにあたり、20代の市職員に加わってもらい若い方の意見を反映して進めてほしい。【小粥委員】 	⇒ご意見を踏まえ、今後、実施項目の検討を進めてまいります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の観点にペーパーレスを加えてはどうか。【関委員】 	⇒同上
		<ul style="list-style-type: none"> ・財政については、市として新しい歳入を創り出す取り組みはどうか。【熊沢委員】 	⇒同上
		<ul style="list-style-type: none"> ・歳入を増やそうとすれば産業を大きくするため、企業が活躍しやすいプラットフォームが必要。【馬場委員】 	⇒同上
		<ul style="list-style-type: none"> ・歳出については、「その他」という項目があるが、これを吟味していくとアイデアが浮かぶので検討願いたい。【小粥委員】 	⇒同上
		<ul style="list-style-type: none"> ・働く場として選ばれるためには魅力的な仕事を若手に提供することも大事。ボトムアップでやりたい人がやれるような制度を設けるなど、挑戦という言葉について、もっと具体性があるとよい。【山崎委員】 	⇒同上
		<ul style="list-style-type: none"> ・仕組みやシステムを変えるときは、職員の意識と行動が習慣化しないといけないので、職員一人ひとりが歳入を増やし歳出を減らすことがどのように役に立つのか、経営の基礎となる研修を導入してはどうか。【関委員】 	⇒同上
その他	まちの魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台には音楽やスポーツ、大学など学びの場が多く若い世代を惹きつける魅力がある。【小粥委員】 	⇒ご意見を踏まえ、仙台全体の魅力をさらに向上できる組織を構築できるように、実施項目の検討を進めてまいります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・東京と比べて、防災・減災体制がしっかりしているのは仙台市の魅力。仙台にいと当たり前のことかもしれないが、新しい魅力をつくっていくだけでなく再確認してほしい。【熊沢委員】 	⇒同上